



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年7月28日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松本 洪輔

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 2022年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,484	11.4	1,031	17.1	1,029	16.9	670	15.0
2022年3月期第1四半期	1,333	12.8	880	17.3	880	17.3	583	15.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	20.34	
2022年3月期第1四半期	17.69	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	84,767	41,502	49.0
2022年3月期	83,717	41,425	49.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 41,502百万円 2022年3月期 41,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		18.00	18.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,812	1.5	1,903	0.3	1,903	0.3	1,245	0.6	37.77
通期	5,745	1.7	3,958	2.4	3,958	2.4	2,589	2.0	78.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	32,980,500 株	2022年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,500 株	2022年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	32,976,000 株	2022年3月期1Q	32,976,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策が進んだことにより行動制限が緩和され、経済活動・個人消費に回復の兆しが見られたものの、ロシア・ウクライナ問題に起因した資源価格の高騰、円安の急激な進行等による物価上昇に加え、新たな変異株の発生による感染再拡大が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

不動産金融市場においては、前述のリスクによる影響は限定的であり、都心近郊における住宅地・商業地の地価に大きな変動は見られないものの、今後の不動産の流動性や不動産価格の動向については留意する必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視して債権内容の維持に努めつつも、積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の78,224,473千円から1,822,950千円(2.3%)増加の80,047,423千円となりました。

当第1四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均貸付金残高が前年同四半期比9.3%の増加となったこと等により、前年同四半期比99,347千円(10.1%)の増加となりました。

その他の営業収益は、期中貸付額の増加に伴う手数料収入の増加及び信用保証業務に係る収益の増加等により、前年同四半期比52,114千円(14.7%)の増加となりました。

以上により、当第1四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比151,462千円(11.4%)の増加となりました。

金融費用は、前年同四半期比8,594千円(12.5%)の増加となり、その他の営業費用は、前年同四半期比7,621千円(2.0%)の減少となりました。

以上により、当第1四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比973千円(0.2%)の増加となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比61,734千円(20.8%)の増加となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、営業収益は1,484,956千円(前年同四半期比11.4%増)、営業費用は453,853千円(同0.2%増)となり、営業利益は1,031,103千円(同17.1%増)、経常利益は1,029,570千円(同16.9%増)、四半期純利益は670,981千円(同15.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の82,966,581千円から1,057,154千円(1.3%)増加の84,023,736千円となりました。これは主として、現金及び預金が863,366千円(23.8%)の減少となったものの、営業貸付金が1,822,950千円(2.3%)の増加となったこと等によるものです。

固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の751,155千円から7,699千円(1.0%)減少の743,456千円となりました。これは主として、減価償却による減少及び店舗の移転・閉鎖に伴う除却により減少となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の13,561,561千円から17,454千円(0.1%)減少の13,544,106千円となりました。これは主として、1年以内返済予定の長期借入金及び預り金が増加となったものの、未払法人税等が減少となったこと等によるものです。

固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の28,730,794千円から989,497千円(3.4%)増加の29,720,291千円となりました。これは主として、長期借入金が976,510千円(3.5%)の増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い593,568千円があった一方、四半期純利益を670,981千円計上したことにより、利益剰余金が増加となり、当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の41,425,381千円から77,413千円(0.2%)増加の41,502,795千円となりました。なお、自己資本比率は49.0%(前事業年度末は49.5%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年4月27日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,632,569	2,769,203
営業貸付金	78,224,473	80,047,423
販売用不動産	24,586	34,689
前払費用	44,370	42,096
その他	1,126,880	1,218,622
貸倒引当金	△86,300	△88,300
流動資産合計	82,966,581	84,023,736
固定資産		
有形固定資産	95,149	89,079
無形固定資産	24,453	23,523
投資その他の資産		
その他	631,552	630,853
投資その他の資産合計	631,552	630,853
固定資産合計	751,155	743,456
資産合計	83,717,737	84,767,192
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	12,774,928	12,868,926
未払金	74,849	62,156
未払費用	35,615	44,787
未払法人税等	630,748	376,512
預り金	15,847	105,920
前受収益	5,396	6,839
賞与引当金	23,727	46,208
その他	449	32,754
流動負債合計	13,561,561	13,544,106
固定負債		
長期借入金	27,530,056	28,506,566
退職給付引当金	104,600	106,500
役員退職慰労引当金	1,052,838	1,062,325
その他	43,300	44,900
固定負債合計	28,730,794	29,720,291
負債合計	42,292,355	43,264,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	39,118,783	39,196,197
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	41,425,381	41,502,795
純資産合計	41,425,381	41,502,795
負債純資産合計	83,717,737	84,767,192

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	980,006	1,079,354
その他の営業収益	353,487	405,602
営業収益合計	1,333,494	1,484,956
営業費用		
金融費用	68,635	77,229
その他の営業費用	384,245	376,623
営業費用合計	452,880	453,853
営業利益	880,614	1,031,103
営業外収益		
受取利息	0	0
関係会社貸付金利息	78	1,422
受取手数料	290	290
雑収入	—	214
営業外収益合計	368	1,926
営業外費用		
固定資産除却損	451	3,459
営業外費用合計	451	3,459
経常利益	880,531	1,029,570
特別利益		
固定資産売却益	—	29
特別利益合計	—	29
税引前四半期純利益	880,531	1,029,600
法人税、住民税及び事業税	279,849	359,104
法人税等調整額	17,034	△485
法人税等合計	296,884	358,618
四半期純利益	583,646	670,981

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。